

2020年3月期第2四半期

決算説明会資料

2019年11月8日

ShinEtsu

信越ポリマー株式会社

証券コード：7970



目次

1. 連結業績のポイント
2. 連結業績サマリー
3. 連結業績の推移
4. セグメント別業績サマリー
5. セグメント別業績
 - ・ 電子デバイス
 - ・ 精密成形品
 - ・ 住環境・生活資材
6. 財務諸表
 - ・ 比較貸借対照表
 - ・ 比較損益計算書
 - ・ キャッシュフロー計算書

7. 通期業績予想
8. セグメント別業績予想
9. 設備投資・減価償却費・研究開発費

【会社概要】

プロフィール
技術展開
主要製品
グローバルネットワーク

【参考資料】

主要な経営指標の推移
セグメント別四半期業績の推移
配当金の推移
本資料に関する注意事項

1. 連結業績のポイント

- **自動車業界向けの需要は堅調**
 - **半導体業界の設備投資減速で低調**
- ① **自動車関連入カデバイスが堅調**
 - ② **半導体工程内搬送容器が減少**
 - ③ **塩ビ関連製品、新規素材系製品が横ばい**

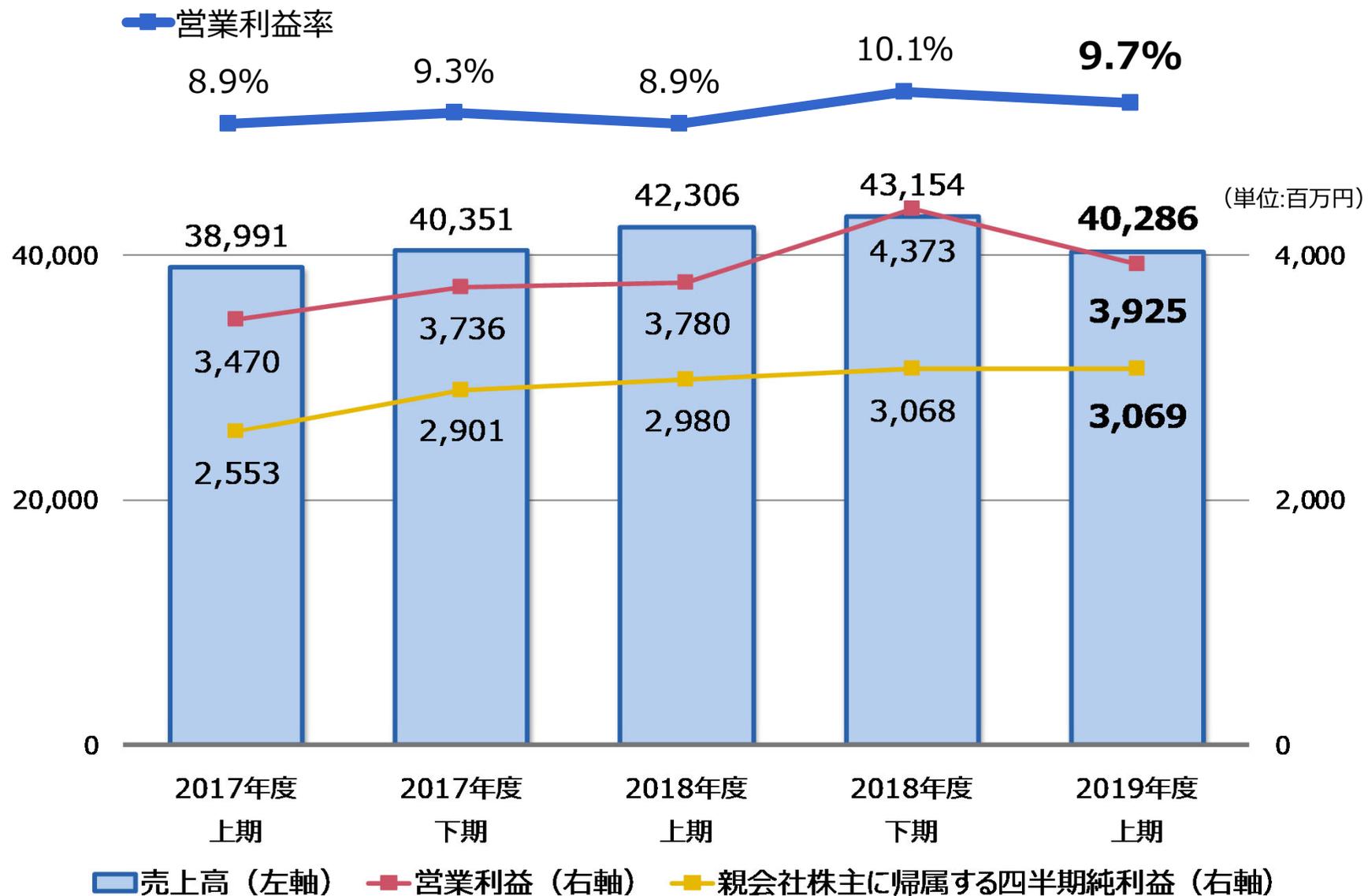
2. 連結業績サマリー

(単位：百万円)

	2018年度上期	2019年度上期	前年比較	
			増減額	増減率
売上高	42,306	40,286	△ 2,020	△ 4.8%
営業利益	3,780	3,925	145	3.8%
経常利益	4,177	4,033	△ 144	△ 3.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,980	3,069	89	3.0%
1株当たり四半期純利益	36.5 円	37.8 円	1.3 円	3.4%
1株当たり中間配当金	8.0 円	8.0 円	0.0 円	0.0%
為替レート (/US\$)	1-6月平均	108.7 円	-	-
	4-9月平均	110.3 円	-	-

※ 為替レートの1-6月平均は、海外子会社の損益を連結するときに使用

3. 連結業績の推移

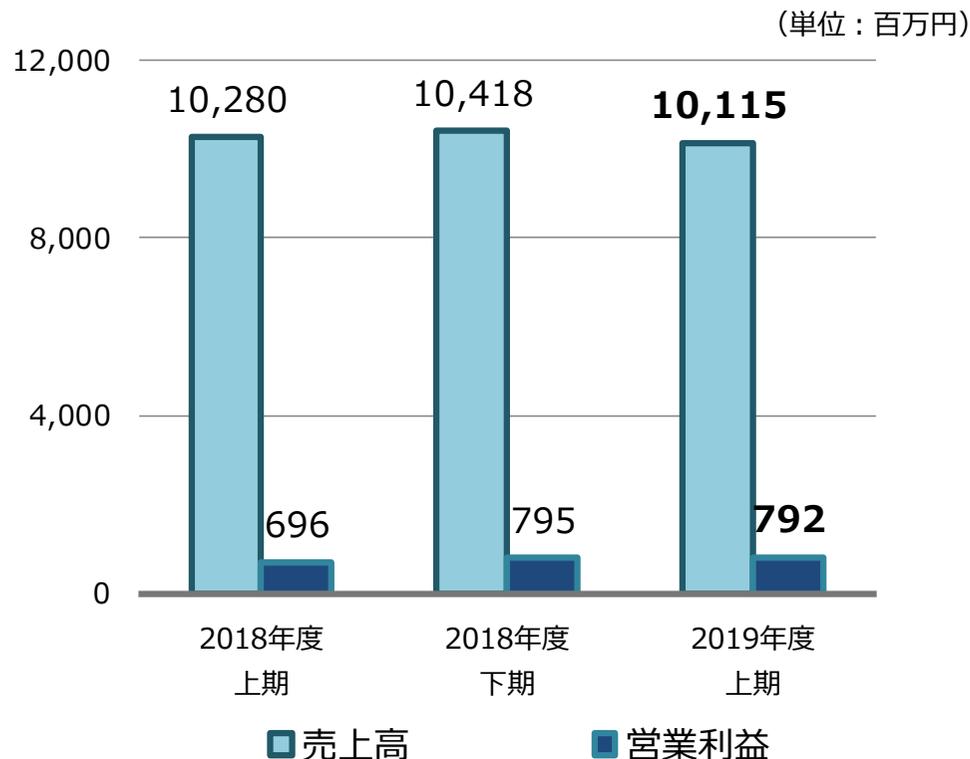


4. セグメント別業績サマリー

(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	2018年度 上期	2019年度 上期	前年比較		2018年度 上期	2019年度 上期	前年比較	
			増減額	増減率			増減額	増減率
電子デバイス	10,280	10,115	△ 165	△ 1.6%	696	792	96	13.7%
精密成形品	18,452	16,354	△ 2,098	△ 11.4%	2,764	2,603	△ 161	△ 5.8%
住環境・生活資材	9,790	9,665	△ 125	△ 1.3%	189	363	174	92.0%
その他	3,782	4,149	367	9.7%	129	165	36	27.3%
合計	42,306	40,286	△ 2,020	△ 4.8%	3,780	3,925	145	3.8%

5. セグメント別業績 電子デバイス



■ 入力デバイス関連製品

自動車用キースイッチ、タッチスイッチが堅調。
薄型ノートPC用タッチパッドが低調。

■ ディスプレイ関連製品

液晶接続用コネクタが低調。
VCFが光学用途で伸び悩み。

■ コンポーネント関連製品

ワイパー部品が好調。

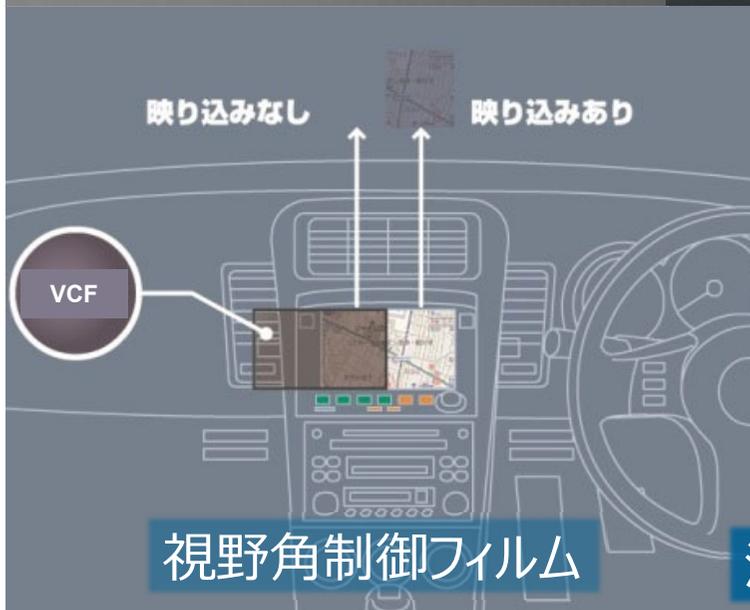
5. セグメント別業績 電子デバイス



キースイッチ（自動車）



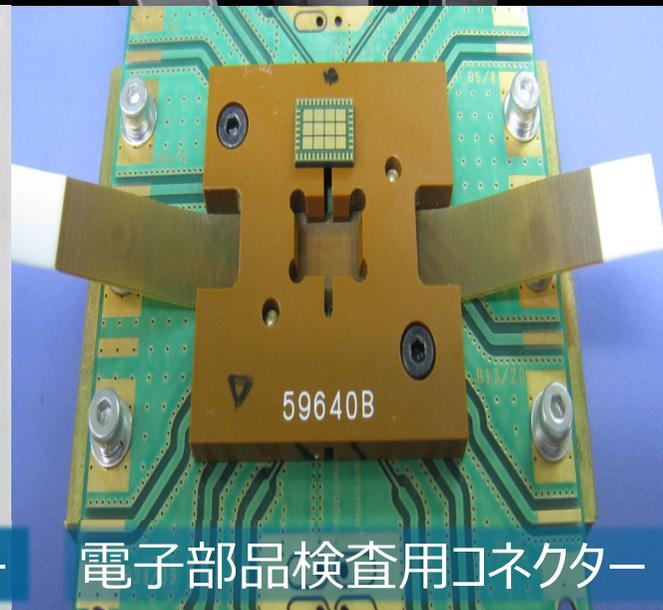
タッチスイッチ（自動車）



視野角制御フィルム

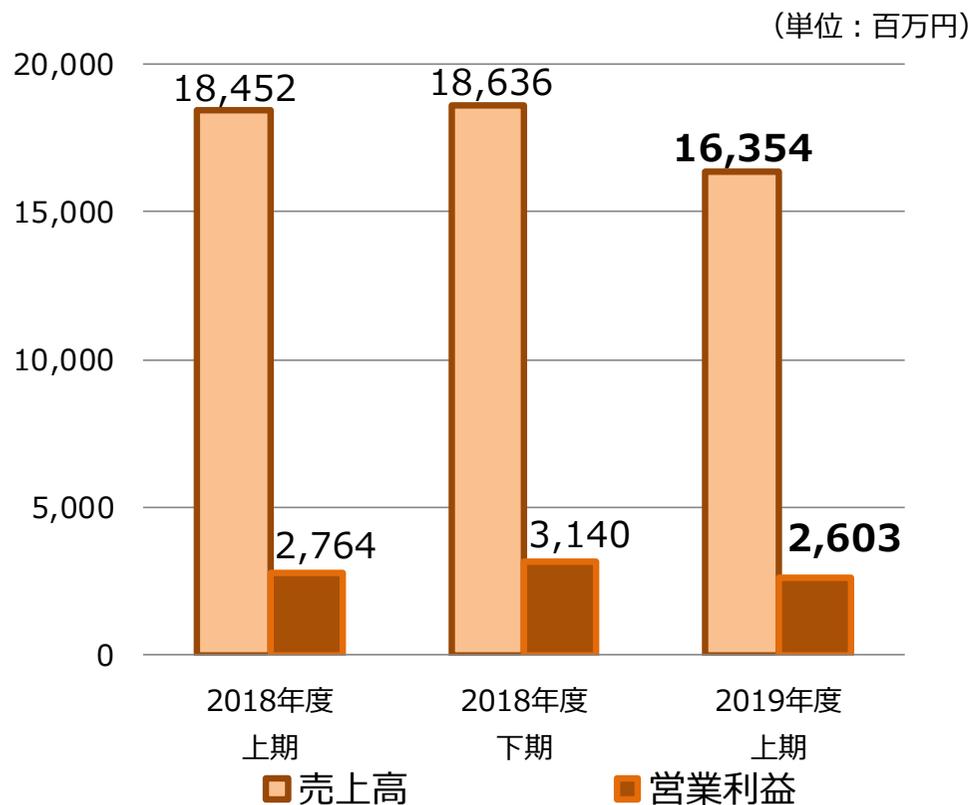


液晶接続用コネクタ



電子部品検査用コネクタ

5. セグメント別業績 精密成形品



■ 半導体関連容器

300mmウェハー用出荷容器は堅調、
工程内搬送容器が低調。

■ OA機器用部品

主力の現像ローラが横ばい。

■ キャリアテープ関連製品

微細電子部品用、半導体用とも低調。

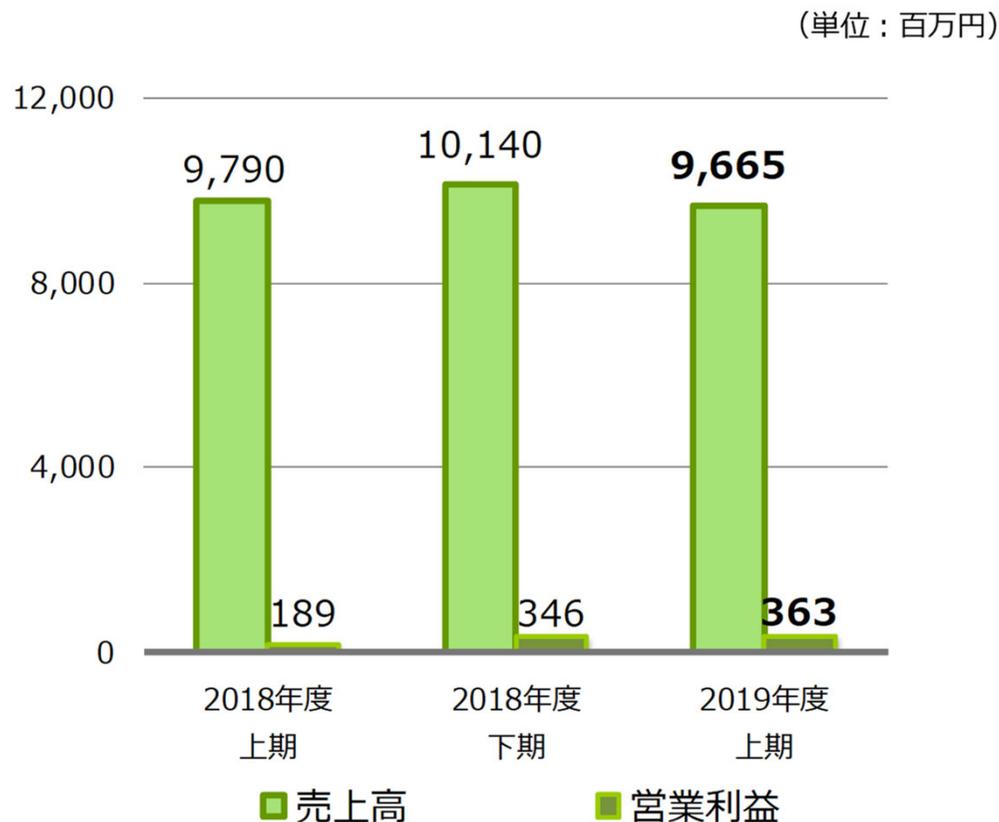
■ シリコンゴム成形品

メディカル関連が堅調。

5. セグメント別業績 精密成形品



5. セグメント別業績 住環境・生活資材



■ ラッピングフィルム

スーパー向け、外食産業向けともに伸び悩み、洋菓子用フィルムが健闘。

■ 外装材関連製品

波板やシーラントの受注量が伸び、価格改定も進み好調。

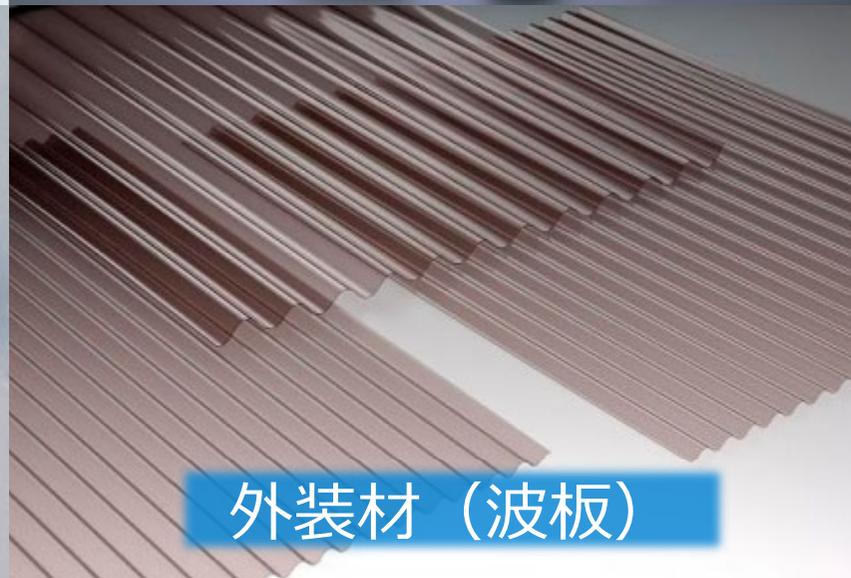
■ 機能性コンパウンド

ロボットなどの工作機械ケーブル用が落ち込み、自動車用が海外向け堅調。

■ 素材系製品

導電性ポリマーが車載電子部品用で堅調ながら、スマホ関連が落ち込んだ。

5. セグメント別業績 住環境・生活資材



6. 財務諸表 比較貸借対照表

		2019年3月末	2019年9月末	(単位：百万円) 増減額
流動資産	現金・預金	41,974	41,313	△ 661
	受取手形・売掛金・電子記録債権	23,621	21,594	△ 2,027
	たな卸資産	11,109	11,539	430
	その他	1,686	1,181	△ 505
	計	78,391	75,629	△ 2,762
固定資産	有形固定資産	24,106	23,910	△ 196
	無形固定資産	172	165	△ 7
	その他	4,362	3,960	△ 402
	計	28,641	28,036	△ 605
資産合計	107,032	103,666	△ 3,366	
流動負債	支払手形・買掛金・電子記録債務	14,709	12,725	△ 1,984
	その他	9,562	6,939	△ 2,623
	計	24,272	19,665	△ 4,607
固定負債	退職給付に係る負債	1,512	1,305	△ 207
	その他	687	632	△ 55
	計	2,200	1,938	△ 262
負債合計	26,472	21,603	△ 4,869	
純資産合計	80,560	82,063	1,503	
負債・純資産合計	107,032	103,666	△ 3,366	

6. 財務諸表 比較損益計算書

(単位：百万円)

	2018年度上期	2019年度上期	増減額	増減率
売上高	42,306	40,286	△ 2,020	△ 4.8%
売上原価	29,289	27,498	△ 1,791	△ 6.1%
販売費・一般管理費	9,235	8,861	△ 374	△ 4.0%
営業利益	3,780	3,925	145	3.8%
営業外収益	416	315	△ 101	△ 24.3%
営業外費用	20	207	187	935.0%
経常利益	4,177	4,033	△ 144	△ 3.4%
税金等調整前四半期純利益	4,177	4,033	△ 144	△ 3.4%
法人税・住民税・事業税	1,142	782	△ 360	△ 31.5%
法人税等調整額	53	181	128	241.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,980	3,069	89	3.0%

6. 財務諸表 キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2018年度上期	2019年度上期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,228	3,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,614	△ 2,596
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 464	△ 650
現金及び現金同等物の期末残高	40,677	40,239

7. 通期業績予想

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度 (予想)	増減額	増減率
売上高	85,460	83,000	△ 2,460	△ 2.9%
営業利益	8,153	7,800	△ 353	△ 4.3%
経常利益	8,026	8,000	△ 26	△ 0.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,049	6,000	△ 49	△ 0.8%
1株当たり当期純利益	74.3 円	73.9 円	△0.4円	△ 0.6%
1株当たり年間配当金	16.0 円	16.0 円	0.0円	0.0%

8. セグメント別業績予想

(単位：百万円)

売上高	2018年度	2019年度 (予想)	増減額	増減率
	電子デバイス	20,699	20,700	1
精密成形品	37,089	34,300	△ 2,789	△ 7.5%
住環境・生活資材	19,931	20,000	69	0.3%
その他	7,740	8,000	260	3.4%
合計	85,460	83,000	△ 2,460	△ 2.9%
営業利益	2018年度	2019年度 (予想)	増減額	増減率
	電子デバイス	1,492	1,600	108
精密成形品	5,904	5,300	△ 604	△ 10.2%
住環境・生活資材	535	650	115	21.5%
その他	220	250	30	13.6%
合計	8,153	7,800	△ 353	△ 4.3%

9. 設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度 (予想)
設備投資	3,721	5,420	6,023	5,000
減価償却費	2,872	3,011	3,790	3,900
研究開発費	3,572	3,382	4,249	4,000

<設備投資トピックス>

- ◆ インド社増能力：2020年4月、キースイッチ設備能力 20%アップ
- ◆ インド社第3棟新設：2020年7月竣工予定

会社概要



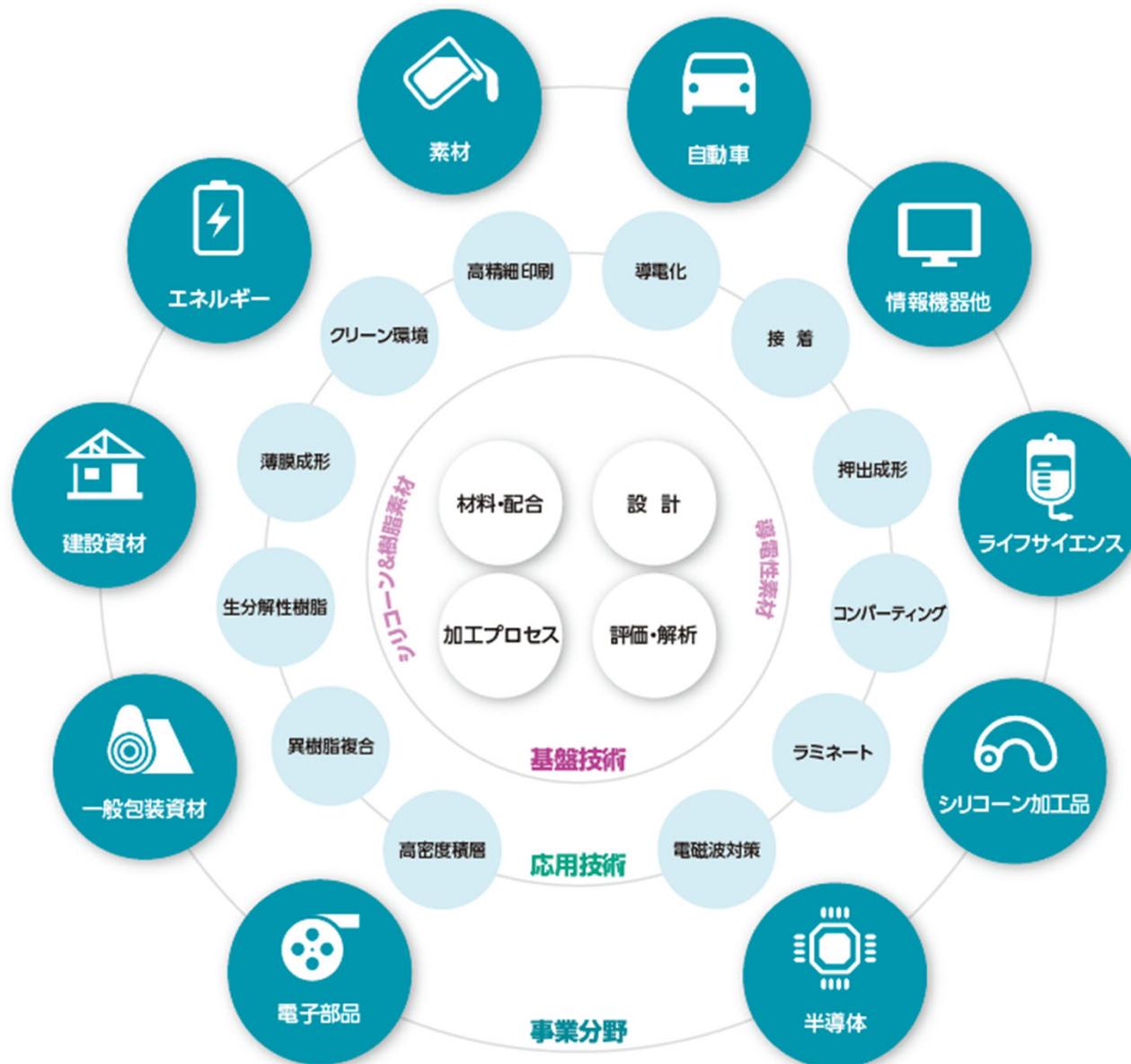
【会社概要】プロフィール

信越ポリマーは、1960年に塩ビ加工メーカーとして設立以来、シリコンなどの各種樹脂の「材料配合」、「設計」、「加工プロセス」、「評価・解析」の基盤技術の応用展開に努めてきました。

現在、樹脂加工メーカーとして、自動車、情報機器関連から半導体、建設関連に至る幅広い分野で、お客様の多様なニーズにお応えしています。

設立	1960年9月15日、信越化学工業株式会社の出資により設立。
主な事業	塩化ビニル樹脂およびシリコンゴム等を主原料とした製品の製造・販売。電子・電気機器関連から建設関連まで、幅広い分野で事業を展開。
資本金	116億3,595万円
連結子会社数	14社
従業員数	4,372名（連結）、1,036名（単独）（2019年9月30日現在）

【会社概要】技術展開



【会社概要】グローバルネットワーク<信越ポリマーグループ会社>

グローバルなニーズへの対応力

(2019年9月30日現在)



參考資料



【参考資料】主要な経営指標の推移

(単位：百万円)

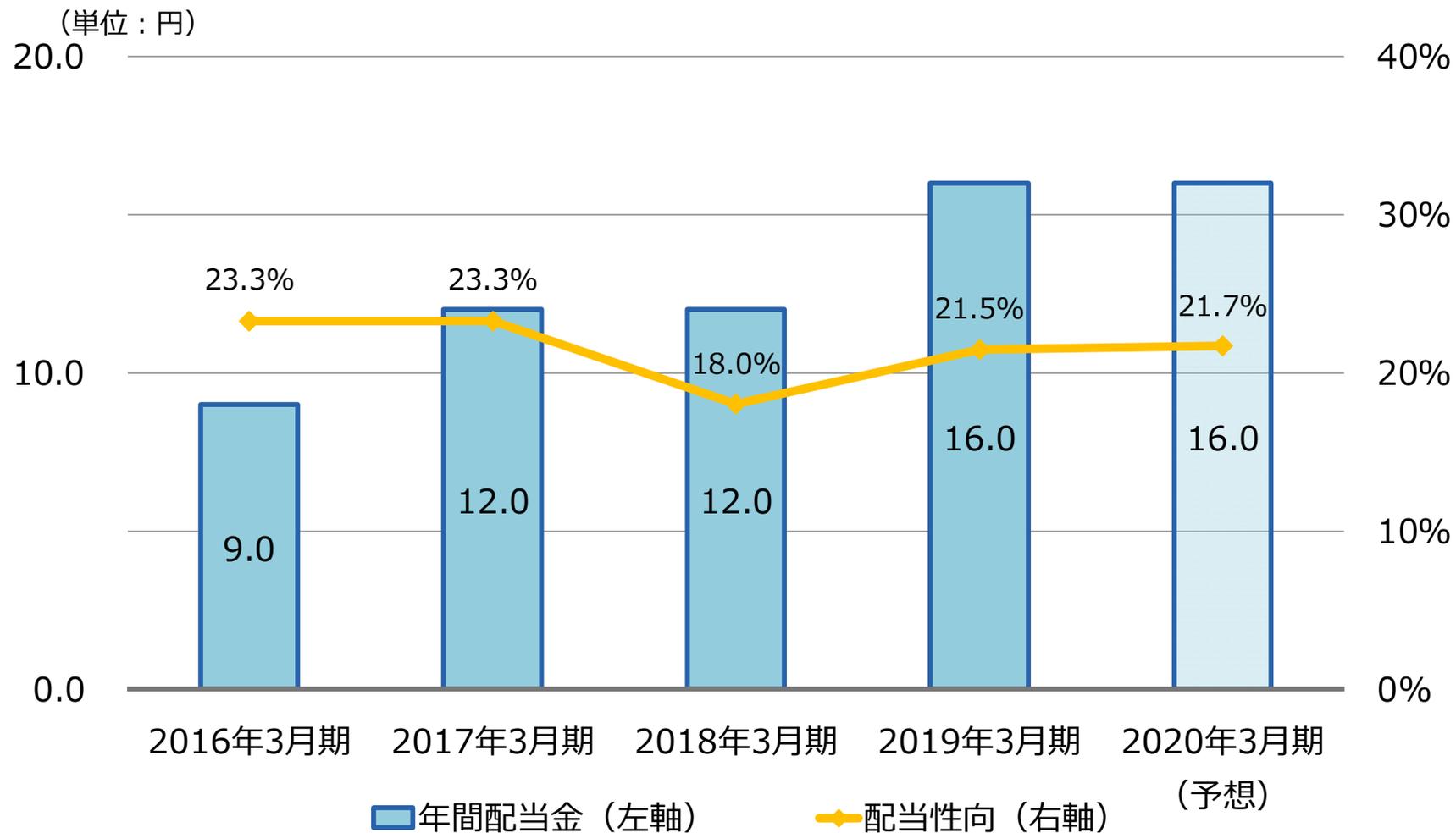
	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
売上高	71,707	75,039	73,979	79,343	85,460
営業利益	2,231	4,101	5,511	7,206	8,153
経常利益	2,865	4,532	5,934	7,274	8,026
親会社株主に帰属する当期純利益	1,777	3,151	4,230	5,455	6,049
総資産	93,889	92,845	96,061	103,667	107,032
純資産	72,250	71,253	72,890	77,510	80,560
自己資本比率	76.0%	76.7%	75.8%	74.6%	75.1%
1株当たり当期純利益(円)	21.85	38.55	51.60	66.48	74.27
1株当たり年間配当金(円)	9.00	9.00	12.00	12.00	16.00
売上高営業利益率	3.1%	5.5%	7.5%	9.1%	9.5%
ROE（株主資本純利益率）	2.6%	4.4%	5.9%	7.3%	7.7%
ROA（総資産経常利益率）	3.1%	4.9%	6.3%	7.3%	7.6%
従業員数(人)	3,962	3,942	4,144	4,407	4,614

【参考資料】セグメント別四半期業績の推移

(単位：百万円)

		2019年3月期					2020年3月期			
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期
電子デバイス	売上高	4,968	5,311	10,280	5,404	5,014	10,418	4,894	5,220	10,115
	営業利益	316	380	696	437	358	795	376	415	792
精密成形品	売上高	9,070	9,382	18,452	9,893	8,743	18,636	7,979	8,375	16,354
	営業利益	1,338	1,425	2,764	1,739	1,401	3,140	1,195	1,408	2,603
住環境・ 生活資材	売上高	4,954	4,835	9,790	5,612	4,528	10,140	4,767	4,898	9,665
	営業利益	90	99	189	345	0	346	161	202	363
その他	売上高	1,703	2,078	3,782	2,009	1,949	3,958	1,796	2,353	4,149
	営業利益	68	61	129	130	△ 39	90	86	78	165
合計	売上高	20,697	21,608	42,306	22,919	20,235	43,154	19,438	20,848	40,286
	営業利益	1,813	1,966	3,780	2,653	1,720	4,373	1,820	2,105	3,925

【参考資料】配当金の推移





本資料に関する注意事項

本決算説明会資料に記載されている、信越ポリマーの現在の計画、戦略など歴史的事実ではないものは、将来に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでいます。したがって、実際には、事業を取り巻く経済情勢や市場環境、為替相場、需要動向の変動など、さまざまな要因によって記述とは大きく異なる結果が生じる可能性があります。

※ 本決算説明会資料の財務データは、単位未満の金額については、切り捨てにより表示しています。